



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年1月29日

上場会社名 ABホテル株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 6565 URL https://www.ab-hotel.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沓名 一樹
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大出 章喜 TEL 0566 (79) 3013
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,508	△29.2	77	△93.8	67	△94.5	44	△94.2
2020年3月期第3四半期	4,954	20.2	1,266	14.5	1,225	10.5	759	10.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	3.11	—
2020年3月期第3四半期	53.57	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,616	6,021	29.2
2020年3月期	19,106	6,062	31.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 6,021百万円 2020年3月期 6,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,820	△23.4	243	△81.7	206	△84.0	134	△84.9	9.48

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	14,176,000株	2020年3月期	14,176,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	254株	2020年3月期	254株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	14,175,746株	2020年3月期3Q	14,175,746株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期累計期間におきましては、政府等による新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という）の拡大防止を目的とした休業要請や外出自粛要請等により、国民生活の様式が変化し消費活動が低迷するなど、わが国経済のみならずグローバルな実体経済に負の影響をもたらしました。8月以降経済政策等により景気回復の兆しは見られましたが、2021年1月に一部地域において再度緊急事態宣言が発出される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした経済環境のもとで、当社は感染症拡大防止対策として、チェックイン時のソーシャルディスタンスの確保、客室に消毒液の設置、スタッフのマスク着用、手洗いの励行、定期的な館内の消毒、フロントでの飛沫感染予防のアクリルパーテーションの設置、朝食会場での使い捨てゴム手袋の着用などお客様に安心・安全にご利用頂けるホテル運営を行いました。またインターネット等を利用した広告宣伝の強化、地場の飲食店と提携した食事券付きプランの販売、政府が実施しているGo Toトラベル事業にも参加し宿泊稼働率の維持及び向上、利益面を鑑み経費削減に努めました。しかしながら感染症拡大防止を目的とした外出自粛要請並びに訪日外国人の減少による近隣宿泊施設の稼働率及び宿泊単価低下の影響を受けた結果、前々期までに開業した既存23店舗の第3四半期累計期間平均宿泊稼働率は68.6%（前年同期比18.5ポイント減）となりました。

当第3四半期累計期間におきましては、2020年8月に「A B ホテル堺東」、10月に「A B ホテル彦根」、同11月に「A B ホテル可児」及び「A B ホテル湖南」に出店し、新規開業4店舗を含め営業店舗数は31店舗となり、客室数は4,101室となりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は3,508百万円（前年同期比29.2%減）、営業利益77百万円（前年同期比93.8%減）、経常利益67百万円（前年同期比94.5%減）、四半期純利益44百万円（前年同期比94.2%減）となりました。

なお、当社はホテル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,510百万円増加の20,616百万円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が652百万円減少した一方、「A B ホテル」の新規出店により有形固定資産が1,833百万円、売掛金が81百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

負債総額は、前事業年度末に比べ1,551百万円増加の14,595百万円となりました。主な要因といたしましては、法人税等の納税により未払法人税等が319百万円減少した一方、A B ホテルの建設による設備投資資金として長期借入金が1,531百万円、リース債務が307百万円それぞれ増加したためであります。

(純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ40百万円減少し6,021百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が40百万円減少したことによるものであります。

なお、自己資本比率は29.2%（前事業年度末は31.7%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期業績予想につきましては、2020年10月30日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。しかしながら、2021年1月に一部地域において再度緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出自粛要請等当社が営むホテル事業において、当会計年度末まで感染症拡大の影響があると考えられることから、今後新たな緊急事態宣言の発出や延長、感染状況の推移、近隣ホテルにおける宿泊稼働率及び客室単価の動向を踏まえ、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,903,086	3,250,421
売掛金	219,330	300,588
たな卸資産	18,040	22,724
その他	93,136	351,871
流動資産合計	4,233,595	3,925,606
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,700,854	12,781,859
減価償却累計額	△1,803,827	△2,061,631
建物(純額)	8,897,026	10,720,228
構築物	608,834	699,794
減価償却累計額	△196,295	△224,145
構築物(純額)	412,539	475,649
機械及び装置	44,389	50,974
減価償却累計額	△31,268	△33,609
機械及び装置(純額)	13,121	17,364
工具、器具及び備品	208,060	258,231
減価償却累計額	△146,028	△167,013
工具、器具及び備品(純額)	62,031	91,218
土地	989,154	989,154
リース資産	3,544,741	3,948,823
減価償却累計額	△599,170	△704,454
リース資産(純額)	2,945,571	3,244,368
建設仮勘定	795,393	410,686
有形固定資産合計	14,114,837	15,948,670
無形固定資産	20,351	28,427
投資その他の資産		
敷金及び保証金	567,249	574,753
繰延税金資産	145,650	119,926
その他	23,788	19,522
投資その他の資産合計	736,688	714,202
固定資産合計	14,871,877	16,691,300
繰延資産		
株式交付費	1,268	—
繰延資産合計	1,268	—
資産合計	19,106,741	20,616,906

(単位: 千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	250,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	1,256,994	1,434,342
リース債務	345,130	255,676
未払金	751,647	769,769
未払法人税等	333,171	14,087
その他	312,684	95,105
流動負債合計	3,249,627	2,918,980
固定負債		
長期借入金	6,366,618	7,721,139
リース債務	2,647,257	3,044,682
退職給付引当金	463	1,061
役員退職慰労引当金	26,920	31,460
資産除去債務	712,048	831,847
その他	41,457	46,380
固定負債合計	9,794,764	11,676,569
負債合計	13,044,392	14,595,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	953,920	953,920
資本剰余金	1,387,438	1,387,438
利益剰余金	3,721,584	3,680,590
自己株式	△593	△593
株主資本合計	6,062,349	6,021,355
純資産合計	6,062,349	6,021,355
負債純資産合計	19,106,741	20,616,906

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,954,793	3,508,486
売上原価	3,304,608	3,158,438
売上総利益	1,650,185	350,047
販売費及び一般管理費		
役員報酬	57,645	47,673
給料及び賞与	65,533	66,880
支払手数料	92,787	54,623
その他	167,872	102,980
販売費及び一般管理費合計	383,837	272,157
営業利益	1,266,347	77,889
営業外収益		
受取手数料	19,835	12,597
雑収入	2,425	10,237
補助金収入	4,507	32,716
営業外収益合計	26,767	55,551
営業外費用		
支払利息	56,250	56,512
雑損失	11,114	9,287
営業外費用合計	67,365	65,800
経常利益	1,225,750	67,640
特別利益		
解約違約金免除益	—	16,851
特別利益合計	—	16,851
特別損失		
固定資産除却損	3,484	—
特別損失合計	3,484	—
税引前四半期純利益	1,222,266	84,492
法人税、住民税及び事業税	473,223	14,707
法人税等調整額	△10,398	25,724
法人税等合計	462,824	40,432
四半期純利益	759,441	44,060

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

（四半期損益計算書関係）

前第3四半期累計期間において、「営業外収益」の「雑収入」に含めていた「補助金収入」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期累計期間より区分掲記することいたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書の組替を行っております。

この結果、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書において、「営業外収益」の「雑収入」に表示していた6,932千円は「補助金収入」4,507千円、「雑収入」2,425千円として組み替えております。